

「第3回千年希望の丘植樹祭」に参加

千歳セントラルRC 2014 - 15年度 社会奉仕委員会 委員長 松坂 敏之

千歳セントラルロータリークラブ（RC）は、5月30日、宮城県岩沼市「千年希望の丘」植樹祭2015に参加し、東日本大震災の復興支援活動を行いました。全国からボランティア約6,000人が集まり常緑広葉樹、約5万本の苗木を植樹しました。会長をはじめとする会員20人は、晴天の下、ご協力いただいた（第2520地区）岩沼RCとともに植樹に参加。この植樹祭に賛同し活動されていた名古屋瑞穂RC、横浜西RC、仙台南RC、ローターアクター、インターアクターの皆さんとも一緒に汗を流し、ロータリーの絆を深めることができました。

「千年希望の丘」は震災の悲劇を二度と繰り返さないという思いと、数々の教訓を1000年先まで伝えようとする岩沼市の復興プロジェクト。被災した沿岸集落の跡地に震災の瓦礫を利用して小高い丘をつくり、苗木を植え、津波から命を守る森の防潮堤をつくる活動です。今年で3回目の実施となり、累計で1万7,000人を超えるボランティアにより、15万本が植樹されました。苗木は成長とともに瓦礫を抱いて地中深くまで根を張ることにより、津波で倒れることもなく、約15～20年

で高さ20～25mの立派な森となる計画です。

千歳セントラルRCは、東日本大震災発生から1年後、2012年3月11日に東日本大震災復興支援チャリティ事業「絆で結ぶ♡あったか千歳」を実施。支援金として約102万円が千歳市内の東北3県人会を通じて震災被災者に贈られました。翌13年には、宮城県岩沼市「千年希望の丘」整備復興支援として10万円を寄付。さらに、岩沼市を訪れる体験ツアーを企画し、クラブ会員と千歳市内の中学1～3年生10人が「千年希望の丘」を訪れています。

今年度は「千年希望の丘」育苗センターにロータリー財団地区補助金を活用して植樹用苗木420本分にあたる21万円を寄付。11月1日に岩沼市民会館で行われた功労者表彰式で菊池啓夫岩沼市長から感謝状が贈られています。

今回、3回目となる「千年希望の丘」植樹祭に参加し、白木松敏会長（当時）は「今後もこの東日本大震災を教訓に、支援活動を継続するとともに、私たちが住む道内の防災対策についても学んでいく必要を痛感しました」と気持ちを引き締めました。（第2510地区 北海道）



心は共に